

キャンドルサービス

人数	20～160 人程度 体育館：100 人以上可能 大研修室：最大 100 人程度	指導形態	指導不可
		目安時間	2～3 時間
対象	特になし	活動場所	体育館、大研修室
班編制	1 グループ 4～6 人が適当	天候	雨天可能
		実施時期	通年

1 概要

静かな暗闇の中で、キャンドルの炎を見つめることにより、自分を見つめ直し、夢や生き方を考える機会となる活動です。

仲間とゲームやスタンプを通して語り合い、友情を深めます。

2 ねらい

- (1) 自分で考え、活動に進んで取り組むことができる。
- (2) 初めてのことに對しても、進んで挑戦することができる。
- (3) 仲間とコミュニケーションを図ることができる。
- (4) 仲間と力を合わせて取り組むことができる。

3 準備物

団体が準備するもの

- ゲーム、スタンプで必要なもの
- マッチ等（火をつけるもの）

施設が貸し出すもの

- セレモニー用大燭台
- 分火用燭台
- 個人用燭台
- マイク
- プレイヤー
- 延長コード
- 掃除用具



教材注文で購入できるもの

- 大燭台設置用ろうそく（大 30 号）最大 6 本
- 分火用ろうそく（中 15 号）
- 個人用ろうそく（小 小口 3 号）

4 役割分担（例）

- 団体担当者…全体の総括・指揮、担当指導員との連絡
- 営火長（1人）…開会・閉会のあいさつ、全体への指揮
- ★○司会者（1～2人）…司会進行、レクリエーション
- ★火の使い（1～2人）…キャンドル入場、点火の言葉、点火
- ★火の守り（2～3人）…キャンドル設置、火の管理、後始末
- ★誓いの言葉（数人）…誓いの言葉、分火（グループの代表）

○引率者・指導者の役割

★児童生徒の役割

5 主な活動内容 ①の説明は担当指導員が行います。

①準備・片付けの説明を受け、貸出物品・購入した教材を受け取る。

②会場の準備（燭台など）をする。

③キャンドルサービス

（例）

〔第1部 迎火のつどい（約15分間）〕

入 場……静かに燭台を囲むように入場

開会の言葉……司会者より

歌 唱……「遠き山に日は落ちて」等静かな曲

営火長入場……ハミングの中入場

点 火……営火長の指示で点火

歌 唱……「燃えろよ 燃えろ」

営火長よりはじめの言葉…目的や火と人間の関わり等の話

〔第2部 交歓のつどい（約60分間）〕

ゲーム・ダンス・ソング・グループの出しもの（スタンツ）等

〔第3部 送火のつどい（約15分）〕

採 火……営火長が中央の燭台のろうそく（大）に火をつける

誓いの言葉……営火長より火を中ろうそくにつけてもらい、誓いの言葉を順に発表

分 火……発表後に全員へ分火

営火場よりおわりの言葉…今日を振り返って明日につなげる言葉等

歌 唱……「今日の日はさようなら」等静かな曲

退 場……静かに退場

④会場を片付ける。※木材は燃やしきる。

⑤灰を処理する。

⑥貸出物品を返却し、事務室に終了の連絡をする。

※時間にゆとりのある計画を立ててください。

※火傷などが起きないように、火の扱いには十分注意してください。

※会場の換気をしてください。

※用具は丁寧に扱い、使用前の確認や点検を十分に行ってください。

※貸し出し用具は、夜のうちに返却し、事務室に連絡してください。